

2023年10月16日

各位

株式会社CAICA DIGITAL
代表取締役社長 鈴木 伸
(コード番号: 2315 東証スタンダード)
問合せ先:
代表取締役副社長 山口 健治
Tel 03-5657-3000 (代表)

中期経営計画 (2024年10月期~2026年10月期) に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、中期経営計画を策定いたしましたので別紙のとおりお知らせいたします。

【連結売上高】

| 2024年10月期 | 2025年10月期 | 2026年10月期 |
|-----------|-----------|-----------|
| 6,284百万円 | 7,045百万円 | 7,813百万円 |

【連結営業利益】

| 2024年10月期 | 2025年10月期 | 2026年10月期 |
|-----------|-----------|-----------|
| 167百万円 | 318百万円 | 467百万円 |

以上

中期経営計画

2024年10月期~2026年10月期

株式会社CAICA DIGITAL(2315)

2023年10月16日

中期経営計画のサマリー

赤字が継続していた金融サービス事業を整理し、黒字事業であるITサービス事業に集中、さらに、クシム/チューリングラムとの連携を図ることによりWeb3事業を発展をさせ、計画初年度より営業黒字化を達成いたします。

「デジタル金融の未来を切り拓く」のスローガンのもと、複数の金融子会社をM&Aにより取得するが、暗号資産市場の低迷や関連規制の強化など、様々な要因により当初想定した利益が得られず

2018年10月期~2023年10月期



赤字の原因であったZaif事業の譲渡と証券事業の廃止を行い、安定的な黒字事業であるITサービス事業へ集中

2023年10月期



ITサービス事業の伸長を図るとともに、Zaif事業でのノウハウを生かし、クシム/チューリングラムとの提携を軸に、Web3.0事業を拡大

2023年10月期~2026年10月期

中期経営計画のサマリー

2026年10月期
連結売上高**7,813**百万円

CAGR13%
FY2023年予想比+44.3%

2026年10月期
連結営業利益**467**百万円

営業利益率6.0%

2026年10月期
ITサービス事業人員**725**人^{※1}

一人当たりの売上+8.5%
FY2023年比+8.5%

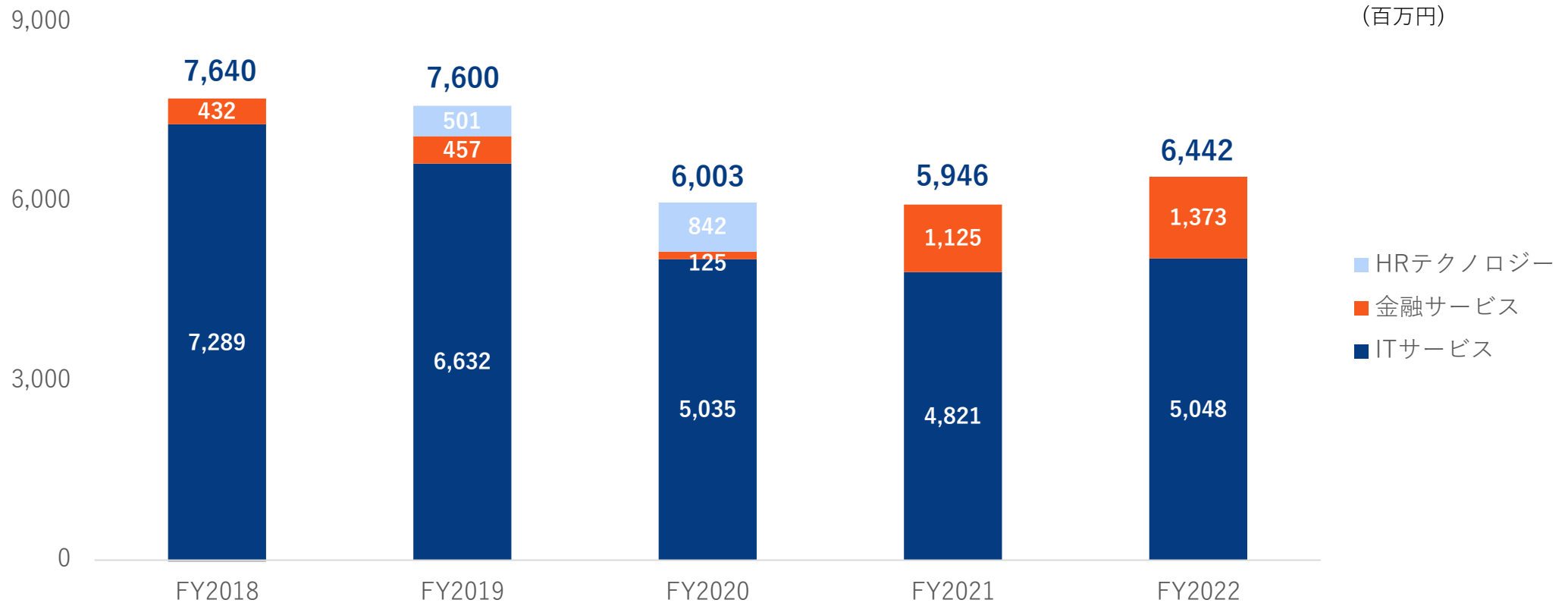
販売管理費約**2,200**百万円減^{※2}

1. パートナー人員数を含みます。
2. 2023年10月期の通期予想概算をもとに算出しております。現在カイカエクスチェンジホールディングス、カイカエクスチェンジ、カイカキャピタルの譲渡、及びカイカ証券の第一種金融取引業廃止に伴う会計処理を行っており、増減する可能性があります。

現在までの経営成績

連結売上高※1の推移

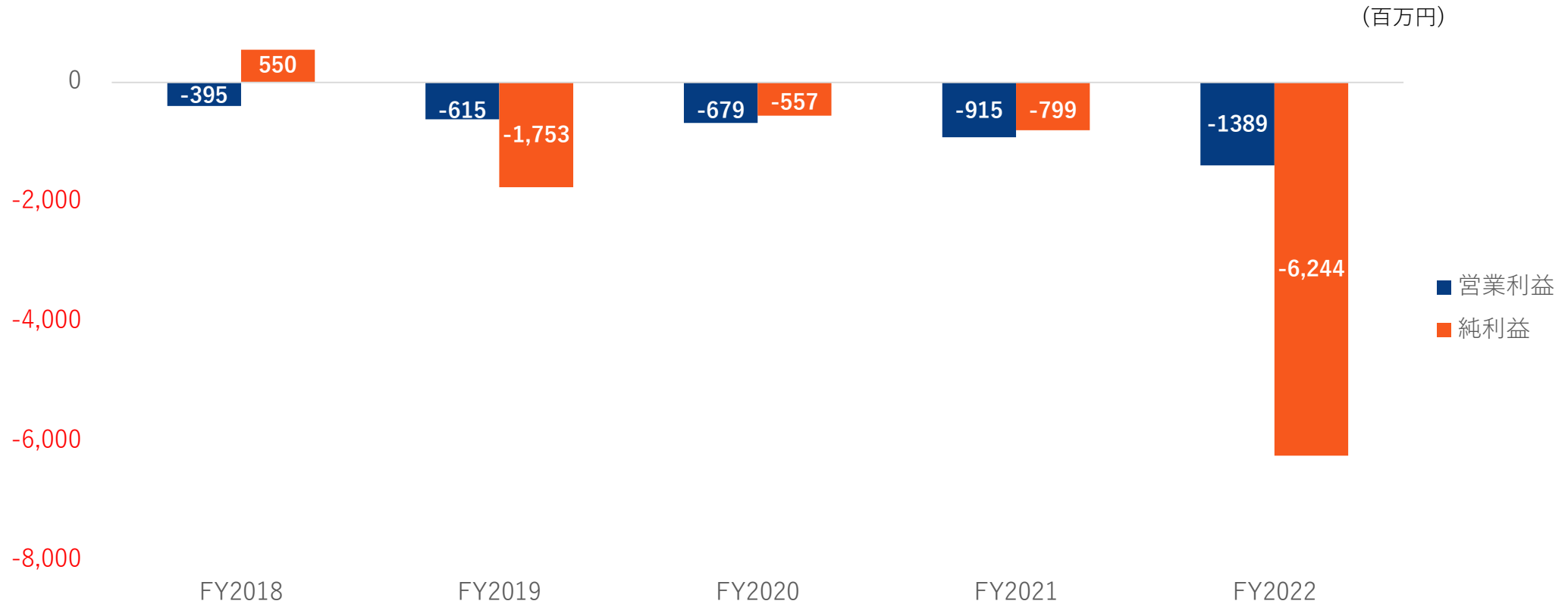
2018年以降「デジタル金融の世界を切り拓く」というコーポレートミッションのもと、M&Aなどの手段により多様な業態の金融各社をグループ化してまいりました。ITサービス事業の売上は堅調に推移まいりました。なお、2019年10月期に子会社を売却したことにより、相当分の売上が減少しております。



1. FY2018 仮想通貨関連-82百万円、FY2019 仮想通貨関連8百万円、FY2022 その他20百万円を含みます。

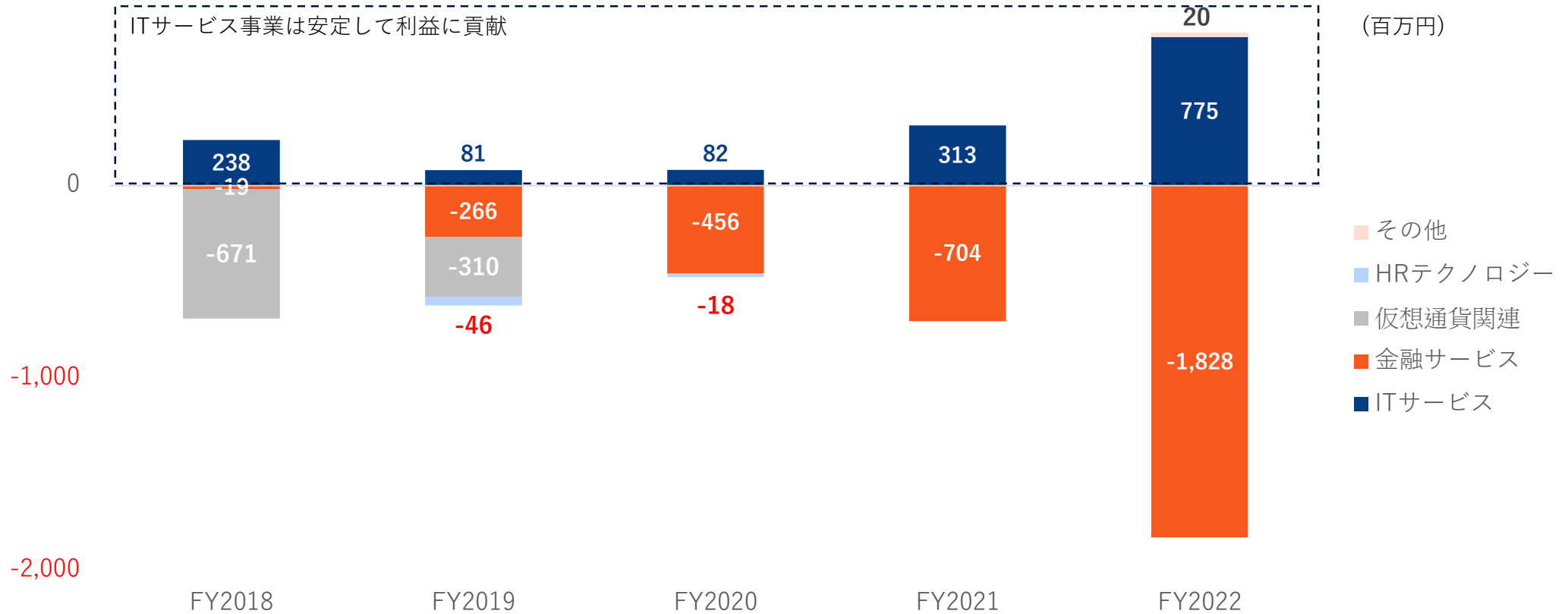
連結営業利益及び連結純利益の推移

金融サービス事業の収支の影響により損失が継続しておりました。また2022年10月期には同時点で未償却であったのれん(主に暗号資産交換所のZaifが対象)の残高を全額償却したことにより5,126百万円の減損損失が生じました。



セグメントごとの利益又は損失の推移

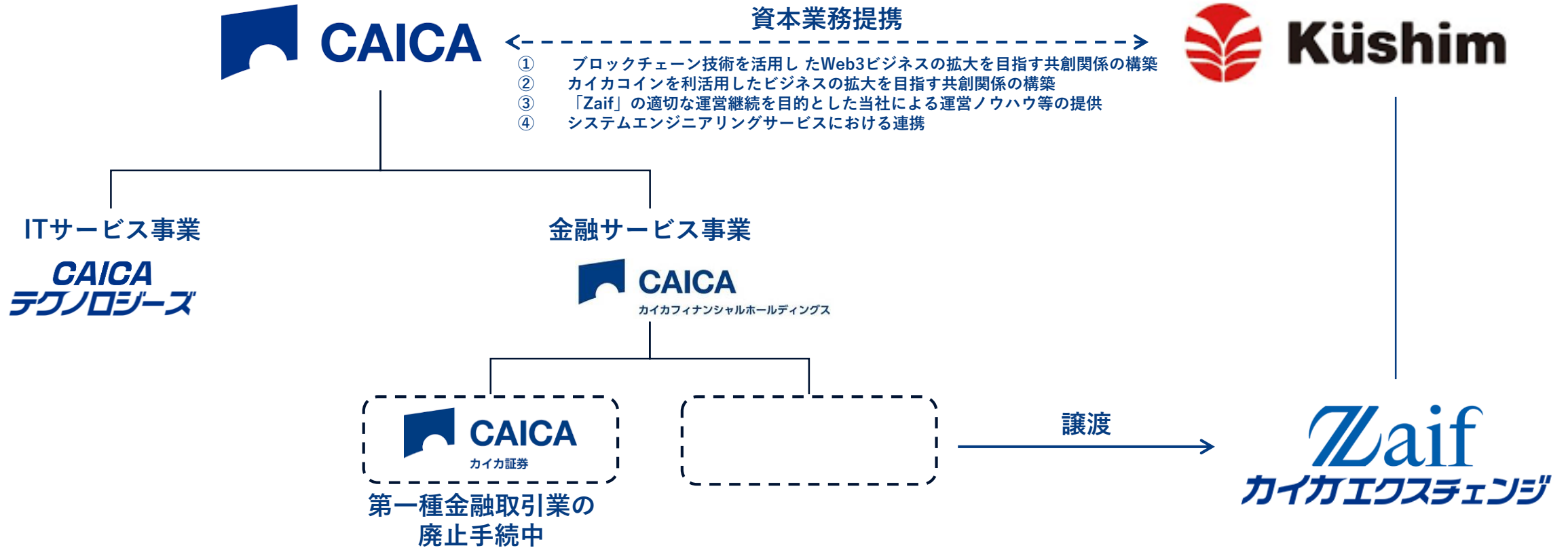
ITサービス事業により得た資金、及び調達した資金を主に金融サービス事業へ先行投資することで将来のキャッシュフローの最大化を図ってまいりました。一方、暗号資産価格の急落をはじめとした様々な外部要因により当初想定した利益を得ることができませんでした。



今後の方針に関して

金融子会社の再編と新たな資本業務提携

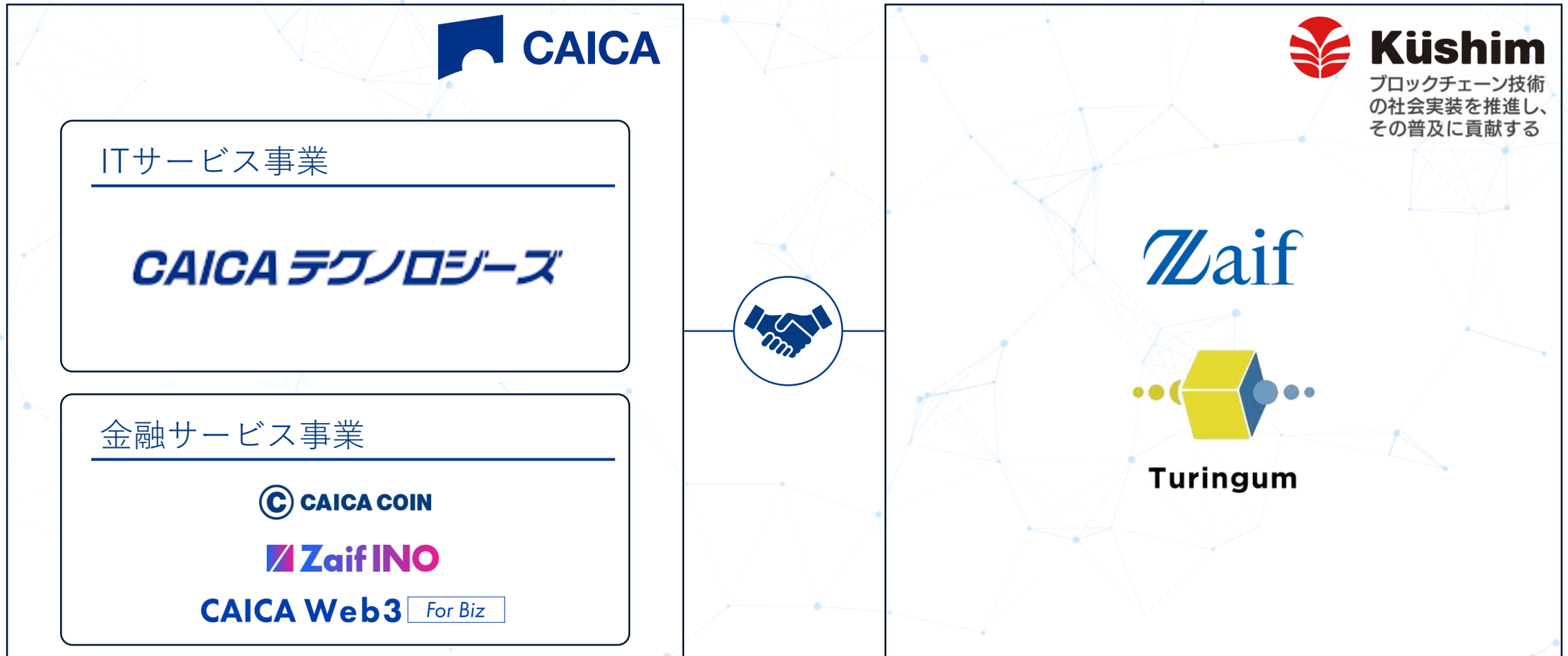
金融サービス事業の損失の主要因となっていた暗号資産交換所Zaifの運営を行う株式会社カイカエクスチェンジ※1を株式会社クシム(2345)に対して2023年10月31日付で譲渡します。またカイカ証券株式会社※2につきましても現在、第一種金融取引業及び投資運用業の廃止を進めており2024年10月期中には完了予定です。一方、株式会社クシムより出資を受けることにより資本業務提携を締結しました。



1. カイカエクスチェンジホールディングス、カイカキャピタルも含まれます。
2. 関係会社 EWARRANT INTERNATIONAL LTD.、EWARRANT FUND LTD.の事業縮小も含まれます。



新体制の事業構造と資本業務提携

今後も「デジタル金融の未来を切り拓く」というコーポレートミッションのもと、Web3.0領域を中心に引続き金融サービス事業の展開を図ってまいります。また株式会社クシムとの資本業務提携の元、引続き暗号資産交換所Zaifとの密な協業を図ってまいります。



販管費削減に伴う収益体質の再構築

金融サービス事業のZaif譲渡及び、カイカ証券の廃業に伴い、2024年10月期以降、販管費約2,200百万円^{※1}が連結から除外される予定です。これにより

 の譲渡、 の第一種金融取引業廃止に伴う業績への影響に関して^{※2}

| | |
|------|--|
| 売上高 | 増加見込み ^{※3} |
| 販管費 | 販売管理費約2,200百万円 ^{※1,4} を削減の予定 |
| 営業利益 | 販管費の削減に伴い、2024年10月期 ^{※5} より順次営業収支が正に転じる想定 |

販管費大幅削減の影響により、常態的に営業収支がプラスとなる体制を構築

- 2023年10月期の通期予想概算をもとに算出しております。現在Zaifの譲渡及びカイカ証券の第一種金融取引業廃止に伴う会計処理を行っており、増減する可能性があります。
- カイカエクステンジホールディングス、カイカキャピタル、EWARRANT INTERNATIONAL LTD.、EWARRANT FUND LTD.を含みます。
- 2023年10月期予想に対して、Zaif及びカイカ証券が連結から外れることによる売上高の減少は軽微の見通しです。なお連結売上高にITサービス事業の金融サービス事業(主にZaif)に対するシステム開発が内部取引から外部顧客への売上高に振替えられるため連結売上高は増加の見込みです。また金融サービス事業のシステム開発からリソースを再分配することにより外部顧客からの売上高が増加する見込みです。
- (参考)2023年10月期の通期予想営業損失は2,400百万円です。
- 2024年10月期中までカイカ証券の第一種金融商品取引業の廃止に伴う支出は継続する見通しです。

CAICA DIGITALの成長戦略全体像

CAICA DIGITALは安定したキャッシュフローを産むITサービス事業を基盤として、「デジタル金融の世界を切り拓く」というミッションのもと、更なるWeb3.0事業の拡大を図ります。またWeb3.0コンサル事業「CAICA Web3 for Biz」より、上流工程のSI案件を獲得することにより、ITサービス事業の収益性向上を図ります。

金融サービス事業※1



自社サービスの知見を活かしたコンサルティング事業

CAICA Web3 For Biz

ITサービス事業※1

安定したキャッシュフローを産むSI事業

CAICA テクノロジーズ

上流工程を獲得し収益拡大のために
スクラム体制を構築

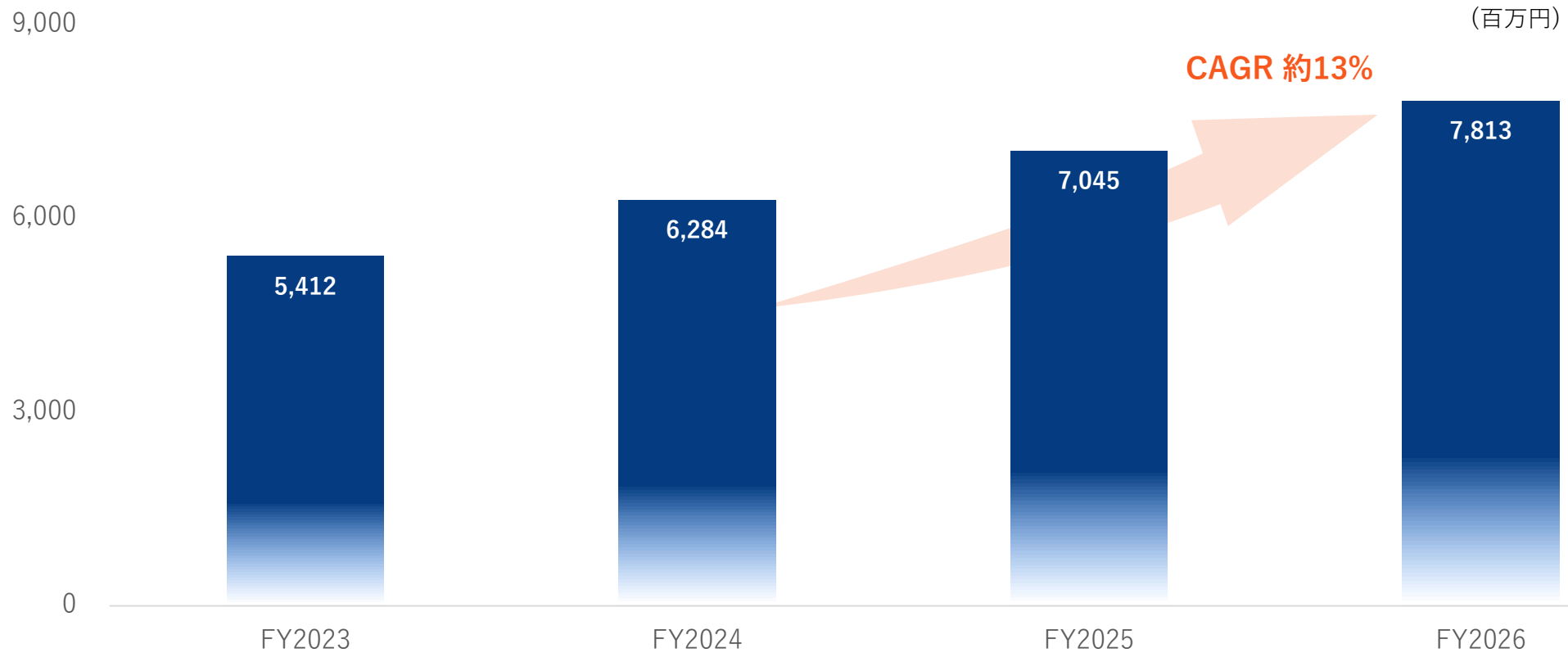
CAICA Web3 For Bizで生じたニーズをSI事業で網羅

M&A活用による更なる事業拡大

1. 本スライドにおける「事業」という表現は、有価証券報告書等をはじめとした法定書面上のセグメントとは異なる可能性があります。各サービスのセグメントに関しては今後定めてまいります。

連結売上高見通し

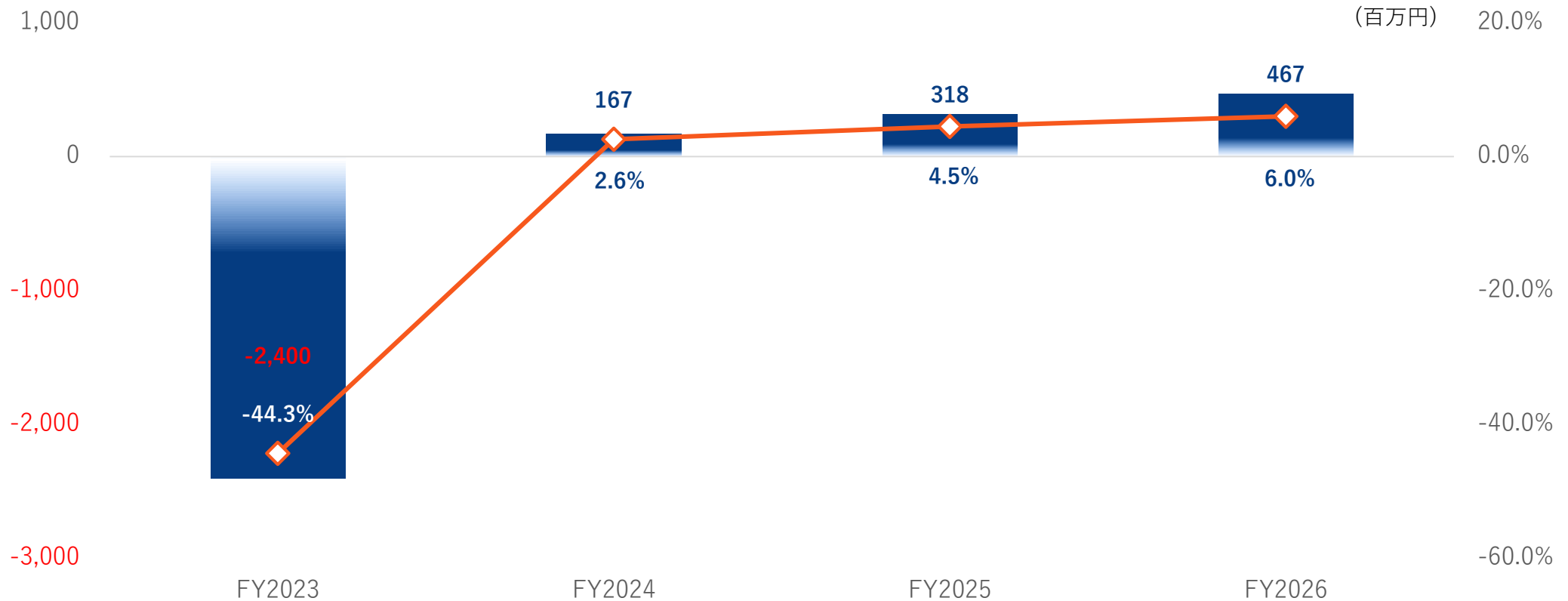
ITサービス事業、及び新規事業の伸長により2023年10月期^{※1}～2026年10月期の間に年平均約13%の成長を目指します。



1. 本スライドに記載した2023年10月期の数値は2023年10月16日現在の業績予想数値です。

連結営業利益及び営業利益率の推移

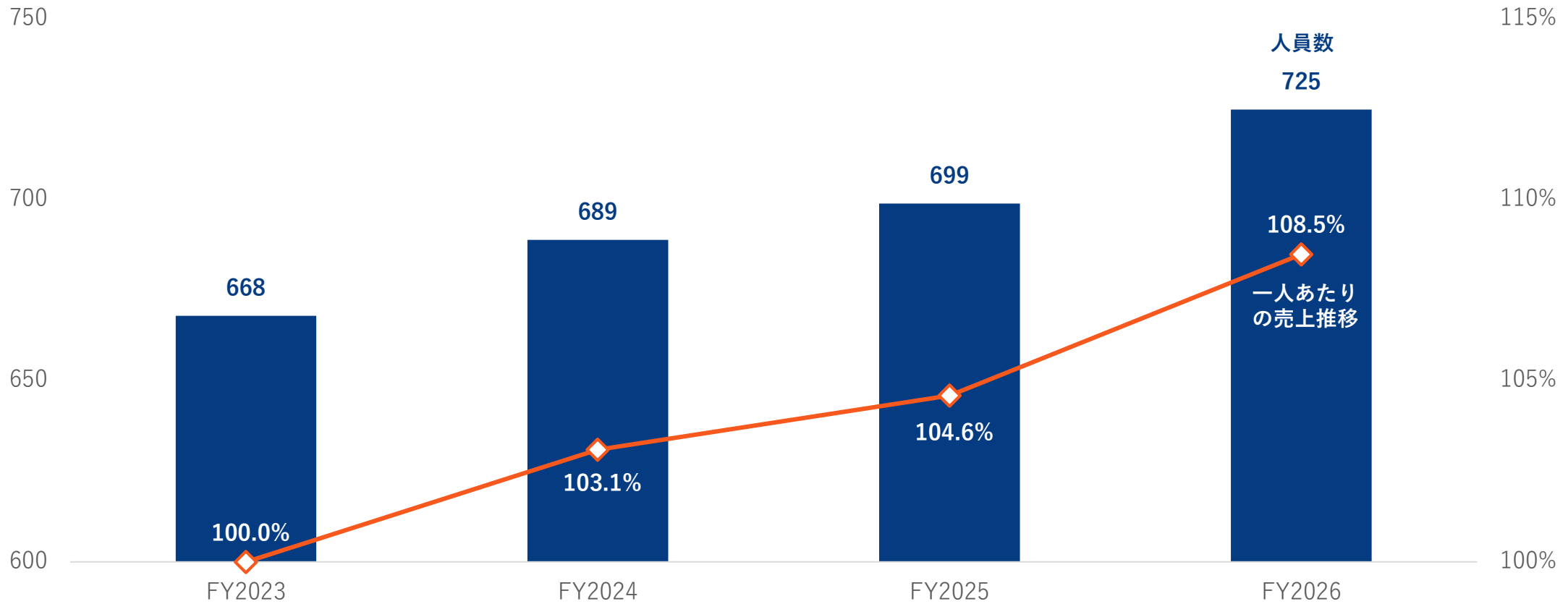
2023年10月期^{*1}は金融サービス事業が要因の損失が発生する見通しです。また2024年10月期中も事業の選択と集中に伴うコストが一部計上される見通しであります。2025年10月期より収益化フェーズとなり以降、段階的に収支が改善される見通しです。



1. 本スライドに記載した2023年10月期の数値は2023年10月16日現在の業績予想数値です。

ITサービス事業の人員※¹及び人員あたりの売上計画

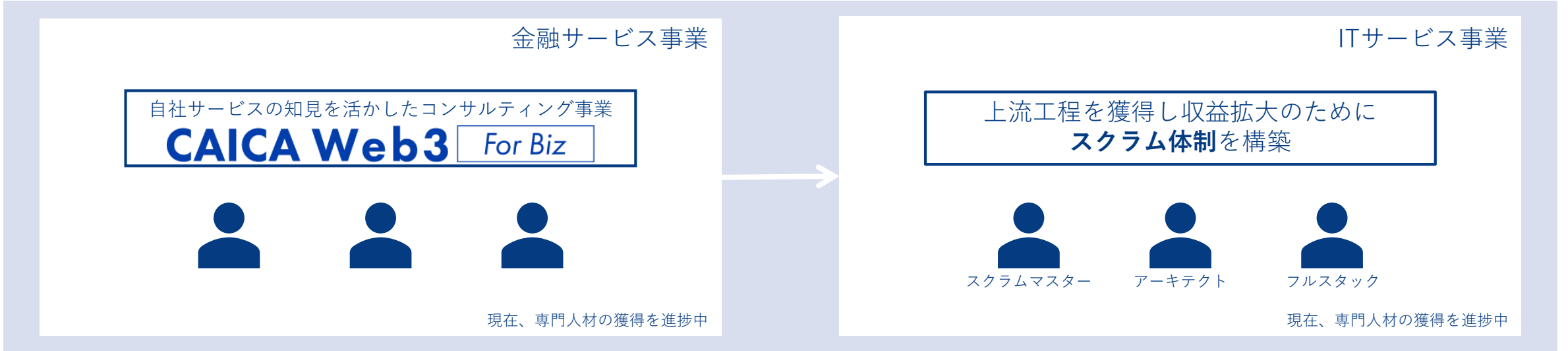
ITサービス事業では人員の純増と併せて、一人当たりの売上増加を図りセグメント売上の伸長を図ってまいります。2026年10月期までに人員は57人純増の予定であり、一人当たりの売上は8.5%増加する想定です。



1. パートナー人員数を含みます。

IT×Web3.0により高単価案件を獲得

金融サービス事業で培った知見を活かし、ITサービス事業においてもWeb3.0領域の高単価案件の獲得を目指し利益率の改善を図り、最終的に営業利益率を6.0%まで向上させることを図ります。2024年10月期よりコンサル人材、及びハイスペックなエンジニアの採用を進め、専門チームを組成します。



高単価案件を獲得し、将来的に連結営業利益率の**営業利益率6.0%**を目指す

本資料について

- 本資料は、株式会社CAICA DIGITAL（以下、当社）の今後の中期経営計画に関する情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。実際の投資に際しては、ご自身の判断と責任において投資判断を行って頂きますようお願い致します。また、本資料の記述内容につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。
- 本資料には、当社および連結子会社の計画など将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、作成時点において入手可能な情報に基づいており、様々なリスクや不確実性が内在しています。従って、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。